

特別委員会 活動報告

取組み状況
報告②



これからも
活動報告を定期的
に行います。

笠岡市の「議会・行政改革特別委員会」で取り組む8つの項目の内、5つの項目については市議会かさおか153号でお伝えしていましたが、残り3つの進捗をご報告します。

⑥議員定数、報酬の検討

前号でお伝えしたとおり、次回の選挙から定数を22名から20名に、報酬を正副議長・議員でそれぞれ8万円ずつ増やした上で、特別職報酬等審議会の答申を尊重し、また笠岡を取り巻く現状等を熟考して、議員報酬と期末手当の額から100分の10を減じる減額特例の条例を制定しました。

⑦委員会機能の強化

二元代表制の下、議会は合議制の議事機関として機能することが基本であり、各専門常任委員会を起点とし、事務執行の監視及び評価とともに、政策立案・提言や立法機能の充実強化を図ることで、市政発展に取り組む必要があり「具体的な運用イメージ図及び分類・進め方のイメージ図」を検討しました。

⑧議会事務局の強化

政策提言・法案作成に携わる体制強化と作成能力の習得が求められており、研修の充実や専門職員の体制、議会専属職員及び専門的な附属機関の活用など、人材面での体制強化の基本構想を検討しました。

視察に行っ てきました

平成30年度
行政視察
報告②



先進的な取り組みを
調査するため視察に
行ってきましたので
報告します

議会運営委員会

(参加議員) 山本俊明 大本益之 天野喜一郎
馬越裕正 大本邦光 仁科文秀 藤井義明



1月
22～24

自由討議、反問権の実施と 議会基本条例の検証



宮崎県都城

都城市議会では、議員間の自由討議と反問権の実施に取り組まれていました。

また、議会基本条例制定後の条例の見直しの手法として実施状況等の検証が行われており、特に、常任委員会の正副委員長会議を行うなど、自由討議の運用の工夫がされ、また基本条例の検証では、本市での検証方法の再確認ができ、今後の参考となりました。

議会機能の充実と 市民に開かれた議会



鹿児島県鹿児島市

鹿児島市議会では、任意組織である議会改革推進研究会で、議員定数や政務活動費など議会改革の12項目について検討・協議を行っています。

タブレットによる電子採決システムの導入や、事前の議員質問通告一覧表のホームページ掲載など、市民への情報提供に向けた取組みが行われており、本市の議会運営の参考となりました。

タブレット会議と インターネット録画配信



福岡県久留米市

久留米市議会では、議場の改修に併せ、大型ディスプレイの設置とインターネット録画配信の整備が行われていました。

また、情報の共有化とペーパーレス化及び市民への情報発信等のため、タブレット会議システムを導入しており、本市にとっても導入後の状況と課題について大変参考となるものでした。